

月	年間指導計画 (学習内容) 単元名 単元の目標	評価の 観点	具体的な評価規準	評価方法
4	文字を使って説明しよう [式の計算] ・身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、文字を用いて一般的に表す必要性を理解する。 ・数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。	知識・技能	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	・定期考査 ・小テスト
5		思考・判断・表現	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・定期考査 ・小テスト
		主体的に学習に取り組む態度	・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート ・ワーク ・授業観察
6	方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式] ・加減法・代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	知識・技能	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・定期考査 ・小テスト
		思考・判断・表現	・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・定期考査 ・小テスト
7	・具体的な問題を連立方程式を利用して解決することができる。	主体的に学習に取り組む態度	・連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート ・ワーク ・授業観察
9	関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] ・具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の割合で変化していることを見いだす。 ・1次関数のグラフを理解する。 ・具体的な事象の中の2つ数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	知識・技能	・1次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	・定期考査 ・小テスト
		思考・判断・表現	・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・定期考査 ・小テスト
		主体的に学習に取り組む態度	・1次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ・1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート ・ワーク ・授業観察
10	図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] ・多角形の角についての性質を見いだし、求めることができる。 ・根拠となることがら	知識・技能	・多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	・定期考査 ・小テスト
11		思考・判断・表現	・基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ、説明することができる。	・定期考査 ・小テスト

	を明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。	主体的に学習に取り組む態度	・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート ・ワーク ・授業観察
12	図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] ・二等辺三角形の性質を証明することができる。	知識・技能	・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	・定期考査 ・小テスト
1	・三角形の合同条件をもとにして、直角三角形や平行四辺形の証明ができる。	思考・判断・表現	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。	・定期考査 ・小テスト
		主体的に学習に取り組む態度	・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート ・ワーク ・授業観察
2	起こりやすさをとらえて説明しよう [確率] ・起こりうる場合を樹形図や表を使って、確率を求めることができる。	知識・技能	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。	・定期考査 ・小テスト
		思考・判断・表現	・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	・定期考査 ・小テスト
		主体的に学習に取り組む態度	・場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート ・ワーク ・授業観察
3	データを比較して判断しよう [データの比較] ・箱ひげ図を理解し、データの分布の傾向を読み取り、考察し判断することができる。	知識・技能	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・定期考査 ・小テスト
		思考・判断・表現	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・定期考査 ・小テスト
		主体的に学習に取り組む態度	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート ・ワーク ・授業観察